



男女共同参画推進室ニュースレター

olive・heart

Afternoon Meeting vol.4 in 農学部 ～研究が大好きな貴方に～開催



手作りマンゴスチンゼリー



フレッシュマンゴスチン

第4回目のAfternoon Meetingは過去最多の28名が参加。今回は「研究が大好きな貴方に」をテーマに、女子大学院生を中心に、研究に携わるたくさんの女性が集い、ランチを共にしました。ゲストの農学部長 早川 茂先生は「女性教員を育成するために、その基となる女子学生を育成することが大事だ」と熱い思いを語ってくださいました。

参加した女性達は、それぞれ研究活動の写真を示して、各自の研究紹介を行いました。同じ農学部キャンパスにしながら、全く知らなかった他分野の研究に興味深く伺っている様子が印象的でした。

先輩研究者の杉田先生からは「いろんな人と交流し、人の縁を大事に自分がやりたいことをコツコツとやっていくと道が開ける」と女子学生にエールが送られ、野村先生からは「今日は縦ではなく横の繋がりを持てる良い機会になったと思う。男子学生も含め彼女たちがマスターやドクターに進学できるように、要望を聞ける窓口ができればと思う」と力強いメッセージがありました。

早川先生は、手作りのマンゴスチンゼリーで参加者をもてなしていただき、お連れ合いの留学のお話やご趣味のエアロビクス、可愛い飼い猫のことなど、プライベートなお話もたくさん語っていただき、終始、和やかな雰囲気の中で参加者は交流を深めることができました。

目次:

- Afternoon Meeting報告 1
- オープンキャンパス大学院生相談コーナー 2
- 相談電話開設 3
- デートDV防止研修会 3
- 香大っこサポーター「熱い暑い託児の夏」 4-8



農学部・経済学部オープンキャンパスで相談コーナー

8/8(木)にオープンキャンパスを訪れる女子中高生にむけて、女子大学院生が窓口になり、女子中高生が相談しやすい窓口を設置しました。支援員・育成員の協力のもと、生き生きと研究に取り組む女性たちに出会い、学部の様子や研究の一端に触れることで、進路の選択の幅を広げ、自身の可能性について考える機会とする目的で毎年実施しています。

経済学部



経済学部では11:45~14:15で、2人の女子大学院生が相談に応じ、35名の高校生が訪れました。入試に関する相談は「志願理由書」や「小論文」など具体的なものが多く、香川大学で学びたいという強い意志が感じられました。

女子大学院生は和やかな雰囲気を作り、丁寧に相談に応じていて、相談者の94.3%が「不安は解消された」、「進路選択の参考になった」と回答しており、とても好評でした。



輝く女性研究者・卒業生が掲載されたロールモデル集を女子中高生に手渡しました。

女性研究者もいいかも・・・と進路の選択の一つとなったかもしれません。

経済学部の傾向

経済学部 学部生男女別割合
(2013年5月1日現在)



経済学研究科(大学院) 男女別人数推移



農学部の傾向

農学部の学部学生男女比
(2013年5月1日現在)



農学部女子大学院生の比率
女子大学院生比率



農学部



農学部では12:30~15:30の3時間、4人の女子大学院生が24名の相談を受けました。

相談内容の多くは入試や学生生活についてでしたが、中には「虫の研究」について質問している高校生もあり、興味のある研究内容に関心を深めていました。



また、就職先や大学院についての相談も多くあり、大学入学という次のステージだけを見るのではなく、長期的なスパンでとらえ、将来を見据えた進路の選択を試みている高校生もいました。



相談者からは「楽しく質問できました」「全て質問できました」といった感想が多く寄せられました。相談しやすい雰囲気のせいか、2時間近く相談する高校生も。

生き生きと研究内容や学生生活を話す女子大学院生をロールモデルとして、自らの将来に結びつけていた様子が見られました。

「性のトラブルホットライン」開設

速報 女子学生のための相談窓口の開設

女子学生の性の悩みに応える相談ホットラインを開設します。

どの学部の方でも相談できます。ホットラインでは、性に関する悩み、恋愛に関する人間関係、セクシュアルハラスメント、デートDVなど、男女共同参画推進室の女性のコーディネーターがお話を伺います。

受付時間：10:00～17:00 月～金(土・日・祝日は除く)

電話番号：087-832-1055 (専用電話はただ今準備中)

※個人の秘密は厳守します。

全学研修会・法学部FD

「安心して働ける・学べる環境づくり

デートDV防止研修会」

教職員や学生にとって、安全な職場・学習環境は、安心して修学・就業を続けていくために欠かせないものです。そのため、大学には安全な環境整備に対する配慮が求められています。また、たび重なる事件を受けて、本年6月にはストーカー規制法及びDV防止法が改正され、デートDVに関してさらに学ぶ機会が必要とされています。

講師の中島幸子氏は、DV被害にあった経験をきっかけに勉強を始め、米国にて法学博士号、ソーシャルワークの修士号を取得。香川県内を含めて各地で毎年多数の講演活動を行っています。

デートDVの被害者の相談相手は友人であり、2009年に香川大学で実施されたアンケート調査でもデートDV被害の相談先は圧倒的に友人が多いという結果となっており、相談を受けた時の対応が重要です。昨年に引き続き、デートDVの基礎知識、その予防と対応、被害者の心理的な影響についてお話させていただきます。

日時 平成25年11月20日(水)13:00～14:30

講師 中島 幸子 氏【NPO法人レジリエンス代表】

場所 E31教室(経済学部棟3階)

対象 全学教職員(法学部教員はFD)、学生

※ハラスメント相談員の研修も兼ねております。

講師紹介 中島 幸子 氏 (NPO法人レジリエンス代表)

杏林大学医学部非常勤講師・東京医科歯科大学 非常勤講師

プロフィール：DVコンサルタント、ソーシャルワーク学修士、米国法学博士、DV被害にあった経験をきっかけに勉強を始め、米国にて法学博士号、ソーシャルワークの修士号を取得。2001年からDVや性暴力についての講演活動を開始し、2003年支援団体NPO法人レジリエンスを結成。各地で毎年多数の講演活動を行っている。



あなたの悩みを聴かせて



*11月12日～25日は、毎年女性に対する暴力をなくす運動期間になっています。

定員364名

男女共同参画推進室まで

ご予約をお願いします。

(法学部教員は不要)



香大っこサポーター大特集『熱い暑い託児の夏』

香大っこサポーターは、学生の託児ボランティア組織です。平成23年度から養成講座を開催し、現在までに45名の学生が登録しています。サマースクールやセンター入試の託児、一時保育の時のやさしいお姉さん・お兄さんサポーターとして、大活躍しています。

7. 3 香大っこサポーター養成講座 2013 報告

7月3日（水）幸町キャンパスで「香大っこサポーター養成講座」を実施し、36名の学生が参加しました。

男女共同参画推進室の長安コーディネーターより、香大っこサポーターの意義、活躍、事故の対応、個人情報保護等について説明がありました。香川大学では「香大発、地域ぐるみ女性研究者支援の高波を」女性研究者研究活動支援事業に取り組んできました。

女性研究者をはじめ、教職員が安心して教育研究や大学業務と出産・育児が両立できるように支援していくために、「香大っこサポーター」が結成されました。保育園がお休みなのにどうしても出勤しないといけない時など、ちょっと手伝ってくれる人たちを育てていこうという趣旨で、託児ボランティアの養成が始まりました。

講座では、実際に香大っこサポーターとして活躍中の先輩方からのビデオメッセージを視聴しました。二人の先輩から香大っこサポーター



の活動はとても楽しいことが伝わってきました。サポーターの活動は共働きの家庭で育てているお子さんと向きあう機会となり、学生にとっては自身の進路やライフイベントを考える上で貴重な経験の一つになるかもしれません。

また、託児ボランティアあゆみの梶ヶ谷真知子さんからは「保護者が預けたことを“よかった”と思えるように支援すること」と託児をする上でのポイントを教わりました。

長時間の託児は子どもにとってハードなので、子どもの生活リズムに合わせて遊んであげること、託児には危険を予測したり、子どもの様子を見過ごさない想像力やコミュニケーション力が必要ということも学びました。受講生同士のワークショップもあり、体を動かしながら受講する楽しい講座となりました。「学校や家庭だけじゃなくて、いろんな大人の人と接した人はすごい財産を持っている、人生が豊かになる。」と話される梶ヶ谷さんのやさしいまなざしが印象的でした。託児支援25年。梶ヶ谷さんの言葉には輝きと説得力がありました。

当日は、5人の赤ちゃんを連れてきたお母さんたちも説明会に参加してくださり、実際に赤ちゃんをだっこしたり、一緒に遊んだりと思いがけない出会いもありました。

大勢の学生を見て泣き出す赤ちゃんも居ましたが、実戦さながらの貴重な体験となりました。



★参加者の感想★

赤ちゃんたちのそばまで行ってみると、どう接すれば良いのかわからなくて、戸惑ってしまいました。そのことから、よく父親はあまり育児を手伝わないと言われるが「だだ、どう子どもに接すれば良いのかわからないだけなのでは？」と思いました。そして、いかに子どもたちに接するかもっと勉強しなければならぬことを痛切に感じさせられました。（経済学部男子）

今回は、今まで活動されてきた写真を見たり、経験された先輩方の話を聞いたりして、より具体的に活動内容を知ることができました。実際に赤ちゃんを見ると、やっぱりとても可愛くて、託児ボランティアに対してより強い魅力を感じました。（法学部女子）

8. 7 香大っこサポーター託児体験実習 報告



初めての預かり



にぎやかなごはん風景



初めて離乳食を体験

8月7日（水）「香大っこサポーター託児体験実習」を行いました。これは、香大っこサポーターの個別の託児に備えて、指導者が見守る中、実際の乳幼児の預かりを通して、具体的な託児技術の習得を目的にしています。

託児ボランティアあゆみの代表 梶ヶ谷真知子さんとスタッフ3名の方がお手伝いくださる中、15名のサポーター希望者が参加しました。国分寺子育て広場の保護者の方々にご協力いただき、8か月から4歳までの10名の乳幼児が、香大っこサポーターの託児を実際に体験しました。実際に保護者からお預かりする時は、とても緊張した面持ちでした。お母さんを後追いで、急に泣き出す赤ちゃんや平気で楽しそうに遊んでいる子ども達に、サポーターは戸惑いながらも、一緒に楽しく過ごせるように頑張っていました。

お昼は、子どもたちと一緒にご飯を食べたり、初めて見る離乳食をおそろおそろ食べさせたりしました。そして、お昼寝の時間には、寝ぐずりする

赤ちゃんを辛抱強くあやして、1時間以上もかけて寝かしつけました。『9か月の女の子の担当になり、言葉による意志の疎通が出来なかったので、とても苦労した。寝る前と寝た後(起き掛け)は、少しでも抱っこをやめると泣いてしまうので大変だった。(農学部女子)』、『託児実習をしてみても、子どもって本当に元気だと思いました。思っていたよりも話かけてくれたり、笑ってくれたりして、かわいくてすごく癒されました。次の機会にはもっと周りを見られるようにしたいです。(教育学部女子)』と思い思いの感想を残していました。そして、『実際に保育実習をやってみて、母親がどれだけ子育てに苦労しているのかがよく分かった。将来、子育てをすることになったら、任せっきりせず、自分も子育てを手伝わなくてはいけないと思った。(経済学部男子)』など、これからの人生にとってとても貴重な深い体験に繋がったようです。ご協力いただきました皆さん本当にありがとうございました。

【活躍紹介】学会託児に協力しました！

香川大学で9月3日～5日に開催された日本生物環境工学会において、5か月の赤ちゃんの託児に協力しました。サポーター10人で、交代でお預かりしました。初めての小さな赤ちゃんに戸惑いながらも、あやしたり、おしめを換えたり、ミルクをあげたり悪戦苦闘、貴重な経験になりました。かわいい笑顔に参加したみんなが癒されました。



8. 20 児童サマースクール「幸町探検隊」開催報告

8/20（火）、幸町キャンパスで児童サマースクールを開催し、教職員の子どもたちが30名参加しました。

幸町キャンパスならではの博物館での体験学習、おもしろ科学実験講座、理事さんと名刺交換、サークル体験など、盛りだくさんのプログラムで子どもたちは元気いっぱい楽しく過ごしました。

ボランティアでお手伝いいただいた香大っこサポーターのみなさん、サークル関係のみなさん、ありがとうございました。



博物館体験学習「さぬきのため池をそーっとのぞいてみよう」



夏休みに、親がかりで子どもに体験してもらえことや、教えてやれることには限界があり、今回のように、多くのプロの方の適したアドバイスや施設に入れて本当に良い経験ができました。子どもも触発されたようで、知らない世界が覗けてよかったようです。

学食でランチ



香大っこサポーターに迎えられ、子どもたちは、午前中、開校式と博物館「さぬきのため池をそーっとのぞいて見よう」に参加しました。工学部の山中稔先生とゼミ生による、ため池を実際に体感するワークショップでした。暑い日差しの中で、ため池の土手を再現して水をためてみたり、重たい石を使ってみんなで土を固めてみたりしました。先人の知恵と苦勞を体感することができました。



○サマースクール全体の感想 (17名の保護者が回答)

大変良かった	15
良かった	2



おもしろ科学実験「真空ってすごい!!」



○次回の参加について

ぜひ参加したい	12
参加したい	4
わからない	1

理事さんとおやつ&名刺交換

・理事さんと名刺交換

大変良かった	13
良かった	4



お昼は、生協で好きなメニューを選んで、大学生みたいにご飯を食べました。食堂の中で、お父さんやお母さんを見かけて、少し照れくさそうに挨拶する姿も見受けられました。

午後からは、教育学部の高橋尚志先生のおもしろ科学体験で「真空ってすごい！」を体験しました。初めての物理実験室にみんな興奮気味。ピンポン玉が真空管から飛び出す様子を観察したり、真空の実験装置をつくったりしました。

お待ちかねのおやつは、ソフトクリームを食べながら、高木理事・阪本副学長・永井副学長先生とお手製の名刺を交換しました。名刺ケースからおもむろに名刺を取り出して、緊張した面持ちで挨拶をしました。

【アンケートから】長期のお休みの時に、育児と仕事の両立等で何か困っていること

○通っている小学校に学童が無いので、長期休暇は困っています。1週間に数回、午前だけでも学童をして頂ければ大変助かります。

○家でお留守番ができる年齢になりましたので、お留守番をしていますが、どこにも外出せずに家に閉じこもりっぱなしになることが、可愛そうに思うことがあります。(ほかにも同様の意見有)



サークル体験①チアリーディング クローバー

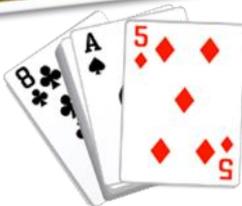


この度は子どもが大変お世話になりました。全ての内容が、とても良かったと申しております。是非ともこれからも引き続き開催して頂けるよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

サークル体験②マジックショー メルシー



今回のように行き先が同じ場所であって、親が就業中に子どもが参加できるイベントが増えれば、親として非常にありがたいことだと思います。



残念！女性研究者研究活動支援事業【拠点型】不採択

香川大学は、平成25年度女性研究者研究活動支援事業【拠点型】に申請しましたが、残念ながら採択には至りませんでした。しかし、中国四国地方の地域連携の成果として、広島大学がみごと採択されました。今後も、女性研究者支援や男女共同参画推進にむけて、一層の連携を図る基盤ができました。11月には鳥取大学で、12月には高知大学で連携のシンポジウムが開催されます。

拠点型採択機関一覧

拠点型採択機関一覧	
	機関名
1	国立大学法人北海道大学
2	国立大学法人岩手大学
3	国立大学法人秋田大学
4	国立大学法人筑波大学
5	国立大学法人東京農工大学
6	国立大学法人金沢大学
7	国立大学法人静岡大学
8	国立大学法人広島大学
9	国立大学法人熊本大学



olive-heart

香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

電話：087(832)1055
内線：1055
FAX：087(832)1057
電子メール：
sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
ホームページ：
<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>



今年の2月14日バレンタインは
学内 男女共同参画シンポジウム
平成26年2月14日(金)10:00~12:00

各部署の取組や活動の成果報告会